夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番
印刷兼発行人 吉田用

産婦人科 斎藤医院 入室完備 平市田町 ㊄九〇二
驛ヨリ二分

市税條例を改正

市民は一人八十一円の負担増

市は三百万圓の増収

平市議会

平市の六月定例市議会は十五日午後一時から市議事室で開会、▽二十九年度追加更生予算九百二十万七千百十八円と▽市税条例改正など九議案と地下採掘など二つの請願を上程して審議、原案可決した。地方税法改正に伴う市税条例改正の要点は、市税の一部を県税に移管し、県民税によって生ずる市財政の穴埋めに、新たに煙草消費税が一部市財政に繰り入れられることになった点と、個定資産税の標準税率を従来の百分の二、から百分の一、六に引下げられた点などであるが、この税法改制によって市民のふところと市の財政にどんな影響を及ぼすかと言うと次のようになる。

市はホクホク

ころげ込む三百万円

税法の改正によって煙草税、県民税と二つの新しい税が生れたので仕事の面では旧倍の多法はまぬがれないが、ふところ具合の方は改正によって見込まれる税収減（市民からの）一千百万円のかわりに新設された煙草税がおよそ一千四百万円ころがり込むのでザット三百万円のもうけとなる。

この三百万円を市民の負担軽減に当てようと考いていたのだそうだが仲々そう作がむづかしいので今のところ見込みなしとある市民とつては情けない次第

送り狼に市民はバー

一応大巾な削減を前提として打ち出した税法の改正でもあるので市一本で見ると、昨年の市民所得対象四千五百万円に対して今年は四千万円となっているからザット五百万円の負担減と言うことになっているが、市民のふところが余り過ぎては道楽にふけるとでも考いてか念入りについて来た県民税なるものが、八百六十五万円も割当てられているので実質的には三百六十五万円の負担増で、四万五千の平市民の負担は、一人八十一円宛従来より多くふところからひねり出さねばならないことになる。

條件付で承認

古河好間の地下採掘

なお地下採掘問題は▽常磐炭砿の石油砿区設定の件は了承古河好間炭砿の地下採掘については左の条件をつけで了承することになり近日中に古河炭砿本社から市提出の条件についての解答を求めることになつている。

▽条 件

一、公益上支障ないものと思料する但し地下採掘の場合は次の条件を付する

①採掘は一層とすること

②採掘方式で採掘跡は完全に充てんすること

③平市の地域内に抗口及び地上施設を作ること

④熱水を平市に使用させること

⑤古河鉱業会社は市域区内の鉱業権を他に譲渡しないこと

⑥砿害発生の場合は鉱業権者が全部ばい償すること。

配湯管の布設替え（湯本）

常磐市財産区では工費三十七万八千円で渡辺組が請負つた同市湯本字上町踏切の配湯木管の布設替工事を六月下旬ころ着工する。

同工事の材料は銅鍍管で延長十六米に布設するが、この上町踏切地内は同市湯本温泉街に送湯する配管の重要ポイントになつており、常磐炭砿六坑揚湯がとまり同市水野谷地内から引湯する場合にもポイントになるという重要箇所である。

炭そ病

ナス、キウリの奇病判明

（既報）去る八日ころから好間、平などのナス、キユウリ、南瓜など約二十町歩に原因不明の病気が発生、石城地方事務所改良課から県園芸試験所に調査を依頼していたが、炭そ病と判つた、なおボルドー液の早期撒布を望んでいる。

市町村衛生主任会

平保健所管内の市町村衛生主任者会議は十八日午前九時半から同所で主任約二十名（炭砿を除く）をあつめて開き、七月一日より新らしく公布される清掃法の説明会、夏期混虫対策、赤痢予防、などについて協議する。

本館の起工式

21日現地で挙行 労災病院

福島労災病院本館の起工式は二十一日午前十時から内郷町の建設現場に斎藤労働次官、東北地方建設局長、遠沼議長ら始め関係者多数が出席して盛大に挙行する、同本館は建坪五百二十坪の鉄筋コンクリート二階造りで、工費はおよそ五千万円戸田組仙台支店が請負い、十二月までには完成開院する運びになつている。なお同労災病院は総工費三億に達する大規模なもので三ケ年に亘つて東北一を誇る全工程を完成することになつているが本年度中には、病棟の二百床を始め、看護婦宿舎、手術室、づ房などが完成する。

波立で投身自殺

死を讃美する文學乙女

平市下平窪字六角一四元某百貨店員佐倉福子さん(三七)は十五日午前五時半頃久ノ浜海岸波立薬師の厳頭から飛込み自殺をとげたのを通行中の岡町漁夫某(三〇)さんが発見したが間に合わず、波が高いので救助出来なかつた。

巌頭には、名入れの洋傘とハンドバツクの傍らに下駄をきれいに揃えてぬいであり、ちつとも取乱したところもなく、きれいな覚悟の自殺だつたと言われている。

母静さん(五三)と長姉基さん(三二)宛に便せんに走り書きで「先立つ不幸を御許し下さい、永い間大変御世話になりました、私は喜んで死んで行きます……」と死をさん美した遺書があり、永いこと胃腸と神経痛をわずらい常に文学書を読みふけつており、詩なども相当作られていたと言う。

家族は、母静さん(五三)長姉基さん(三二)基さんの長男(三)と四人暮しで、医師をしていた父は戦時中に死別、長姉基さんは好間二小校に基さんの夫は田人小校に、次姉寧子さん(三七)は御まや小校に、寧子さんの夫は平二小校に教鞭をとつている教員一家である。

常磐市婦人会

常磐市婦人会の常任委員会は二十一日午後二時から湯本公民館に旧磐崎と湯本の婦人会主婦の会代表が集り、両地区の合同について協議する。

常磐郵便局で珠算の検定会

常磐郵便局では十六日午前九時から湯本公民館ホールで珠算検定会を行う。

この検定会は同局内職員の事務能率向上を図るために行われるもので、検定員は仙台郵政局から来ることになつている。

田植を慰問

配給酒も特配 安いお酒で・平市

市農務課では十六日から格安な田植酒を市内二千六百三十五世帯の農家に特配する。

合成酒と清酒各五合宛で、合成は一升ビン付で三百三十円、清酒はビン付一升四百二十五円、ビンなしはいずれも二十円引きとなる、なお平地方の田植も二十一日ころ最盛期になる見込なので、市では農繁期のお百姓さん慰労する意味で二十日から三日間、市長以下が宣伝カーで田植現地を訪ね、レコード音楽やお菓子などで慰問する。

アポロ会

上演打合せ

常磐市青年文化協会では十六日午後六時から湯本公民館で来る二十八、九の両日開らかれる日演劇部アポロ会の上演について打合せを行う

商議所の局長会

県下商工会議所事務局長打合会は県下関係十余名が出席して十九日午後三時から平商工会議所会議室に開かれるが主なる協議事項は次の通り、

▽東北商工会議所連合会幹事会協議事項について、▽県珠算教育協会からの申入れ事項、▽県商工課連絡事項、▽その他。

一位は渡邊（草野）さん

苗代品評会入賞者

石城地方事務所改良課では去る六月中旬ころから苗品評会の審査を行つていたが、このほど次の通り入賞が決まつた。

▽一位渡辺新（草野）▽二位鈴木六郎兵衛（窪久）大井川一男（常磐）櫛田春季（入遠野）▽三位渡辺欣則（草野）酒井忠一坂田秀次（常磐）鈴木利男（山田）鈴木健一（赤井）根本安太郎（山田）塩条一（平）猪狩常雄（好間）

社会研究校に長倉校を指定

常磐市長倉小校（校長佐藤豊）は十五日付で県教委から二十九年、三十年度の社会科研究校として指定された。

今度指定された研究校は農間小校と郡内で二校となつており、長倉小校の社会科研究指導員は宮本誠門、深沢喜一の両氏で研究を促進することになつた。

この長倉小校は常磐市の旧磐崎村にあり、農村と炭砿との環境をもつ特殊な地帯だけに今後の研究促進が期待されている。

常磐の保護司會

常磐市少年保護司協議会は十六日午後二時ころ湯本公民館に開き、社会を明るくする運動及びB、B、S運動などの行事について協議する。

教務主任役員会

郡小、中、校教務主任役員会は十五日午前十時から植田小校で役員十五名があつまつ開き、本年度の事業計画、研究課題を協議する

尽無と預金
株式会社 相互銀行 大東銀行
平市大町・電110・378

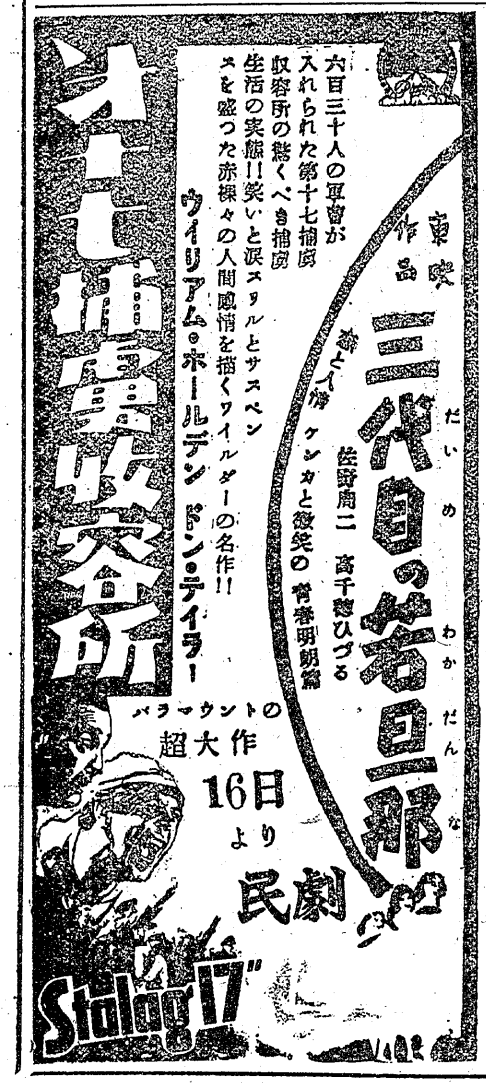
綿とふとん
スズキ製綿店
平市新川町 電四一番

ラヂオ古山

天気予報
（明日）北方至西の風、日中晴たり曇ったりの天気ですが朝晩は雲が多いでしょう。
（海上）始め多少風波がありますが次第にあたやかになりましょう。

開店
……最新型テレビ式……
全機入替!!
6月16日 午後五時 開放
ミツキ遊戯場
平市駅前TEL1432

外内科科 金成医院
平市鎌田町 電話八二六番



磐城物故文人記者 慰霊塔
山田綠雨さんの手で建立

文筆をたてとして民衆の為に身を惜します、常に世に訴えて大衆のために貢献し社会革新に尽している新聞記者や文筆人の末路ほど哀れなものはない、平市にも遡く明治の頃から文筆をもつて郷土の発展のために身をていして活躍した幾多の先人がある、この〝筆に生き、筆に死す〟の貴い先輩たちの功をたたえ、その死を悼んで霊を追善し、これを永久に祈念するために、今は亡き先人同僚十三名の名を彫き連ねた、〝御輪塔〟を創立し、秘そかに文人記者の亡がらを供養しながら寂しき余生を、独居生活に甘んじている老文筆人がいる。

（写真はその慰霊塔）

記られた十三名
往年文筆に生きた先人ら

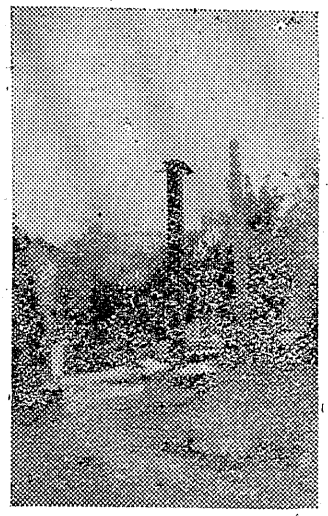
その奇態な老文筆人とは平市四丁目三光堂雑貨店＝店主山田信次（六〇）さん＝実兄研町三光堂支店裏に住む山田政好（六二）さん＝筆名緑雨と号す＝で山田さんは大正末期頃に磐城日日新聞記者として活躍していた往年のジャーナリストである。

山田さんは政争のはげしかつたあの頃先輩同志と共に文筆を以て民衆の為に戦つてきた人だが今は当時の先輩同志の多数はその筆を惜しまれながら世を去つて逝つた、ともすると忘れ去られようとする、この文筆人たちの、功をねぎらいその霊を悼んで「何か追善をしてやろう」と御輪塔建立を思い立つたのが二月も過ぎた木枯の吹きすさぶ頃だつた。

「終始自分の力でやつてみよう」としたが〝金〟の力には勝てず協力を乞う為に毎日足を棒にして歩き続け供養の意を説いて廻つたが一人として耳を傾けてくれない、病身を押して更に思い立つた一念は強く吾が身も忘れて苦痛に堪え忍んで来た甲斐あつて、材木商阿部清さんから用材の寄贈を受けた喜んだ山田さんは早速今は亡き先輩同僚十三名の名前を彫き連ねやつと念願叶つて去る三月二十四日高さ約七尺巾一尺の御輪塔を長橋町性源寺の本堂地内に建てられる運びとなつた、真新しい〝磐城物故文人記者慰霊之塔〟が今梅雨けぶる境内に安らかに眠つている。

往年の文士
新聞記者ら

祀られた十三名の文筆人は……、



◇大須賀じゆん軒＝江戸時代ー平旧藩士で大漢学者として知られ優秀な幾多の学者を育てた郷土の産める漢学者
◇室桜関＝江戸時代ー明治初期＝当時平藩の漢学者、
◇山田天橋＝明治二十年頃ー同四十五年頃＝当時研町に塾を開いていた漢学者、
◇真木水竹＝江戸時代ー明治初期＝同じく漢学者でその碑が今でも公園下ときわの前にある、真木医師の宗祖父に当る人、
◇鍋田晶山＝江戸時代ー明治初期＝同じく漢学者、
◇金古木南＝明治四十年頃ー大正十年頃＝当時の福島民友新聞平支局長として活躍、
◇吉村白水＝明治末期ー大正十五年頃＝磐城実業新聞社を創立地方文化に貢献、
◇十屋知美＝明治末期ー大正初期にかけて＝磐城時報新聞執筆者として活躍
◇矢代公行＝東京朝日新聞が福島版創刊されるや初代の平支局長として活躍
◇高木蕃＝明治末期ーから大正昭和にかけて＝常磐毎日新聞社その他に執筆者として活躍、後市会議員として地方文化に貢献
◇馬目雅治＝大正末期ー昭和初期＝福島民友新聞平支局長として活躍、在平記者界切つての手腕家であつた
◇柏木哲＝明治末期ー昭和十年頃＝いばらき新聞記者を振り出しに、後連沼県会議長の創刊した磐城新聞の主筆として迎えられ大いに活躍、平市の産んだ文筆人としては忘れられない第一人者である
◇馬場林鳥＝大正末期頃東京毎夕新聞平支局長として活躍。

ポン密元の元締
平市署 蒲生宅を急襲

平市署は十四日午後四時半ころ平市十五丁目石炭商、元内郷町防犯協会副会長蒲生正利（四三）宅を覚せい剤取締法違反容疑で急襲家宅捜索を行い、ネオアゴチン五〇〇入れ百四本を押収すると共に蒲生とネオアゴチン五〇〇入れ三十本を持つていた西村モト（五三）の両名を覚せい剤取締法違反現行犯で逮捕した。

蒲生は内郷炭砿街の顔役で昨年八月ころまで石炭商のかたわら同町で千代の家と言う芸妓置屋を経営していたが、置屋をやめてからは売炭も思わしくなく昨年十月ころから十五丁目に愛妾と転居、ヒロポン密売を行い既に五回も検挙されている。

密売していたヒロポンは小名浜の某製造元から一本二円で買受け、一本十円で市内の不良、高校生、芸者、女事務員サラリーマン、流れ者などに売つていたもので、多いときには八十名前後の出入りがあり、常に十名近くのポン患者がゴロゴロしていた、またヒロポンうちながらとぼくを開帳していた疑いもあるので追求を受けている

買つた男から足
社教委員決る
常磐市

常磐市教育員会は十二日午後二時から湯本公民館で開き社会教育委員の選衝を行い、▽湯本地区上野英四郎、比佐栄一、駒木根定之助、湯本顕司、津村ひろし、▽磐崎地区志賀正夫、国井タミ、滝薙勝十屋助次、▽鹿島地区箱崎憲の十名を選任した後、教育委員の報酬並び使用辦徴の額給与に関する条例を審議月額二千五百円（一人当り）を決定し、次の教科指導員を推選した。

▽小学校の部、算数渡辺正保（三小）社会宮本義門（長倉小）音楽北郷進（一小）図工原竹男（一中）、▽中学校の部、社会深沢喜一（理科飛場安吉（二中）図工原竹男（一中）英語円谷良（磐崎中）

高校（時）教育研究会
寿百貨店
今日から再開

営業不振で一時閉店していた平市駅前寿百貨店は関東デパートの雄西武デパートの資本で再び店を開くことになり着々準備を進めていたが、十五日から開店した、関東デパートの進出は初めてだけに市内のデパート業者は成行を注目している。

県教委主催の浜通りブロック県高校定時制教育研究会及び総会は、十七日（午前十時）、十八日（午前九時）の両日内郷高体育館で佐藤県教育次長、佐藤指導主事、鈴木監理主事、浜三郡高校関係約百名が集つて盛大に開催される。

▼第一日（十七日）の研究会協議事項は、①中心校の併時する定時制課程の運営如何、②地域社会学校として分校のあり方如何、③通信教育との連けい、④研討について（県南支部）、▼通信教育振興法案の早学級運営のあり方、⑥青年学級との連けいなどとなつており終つてデスカツションを開く、▼第二日（十八日の総会内容は役員選挙及会計報告の後、各支部提案の事項について研究討議し、デスカツションに入る。

提案事項は次の通り

▼定時制課程は将来どんな姿が望ましいか（会津支部）、▼高校教育課程の改善に際し定時制課程の研討について（県南支部）、▼通信教育振興法案の早

単独市制案を上程
十六日から内郷町議会

単独市制施行問題をめぐつて注視を集めている内郷町では、十六日から三日間開会される定例町議会に市制施行問題を正式に上程、二十四日から開かれる六月県会に間に合うよう町会の議決を急ぐことになつた。

なお町会の事業審議は、十四日（午前九時）運営委員会、同日（午後一時）総務委員会、十五日（午前九時）文教委員会、同日（午後二時）経済委員会を開き、町会議案である町税令一改正の件、等を審議する。

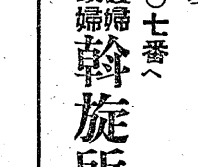
当はずれた北米移民
應募たつた一名

北米カリフオルニヤ移民の第二回応募者受付は十四日で締切つたが石城地方事務所に移民申込をしたのは三阪村字湯の向草野昌一さん（三五）がたつた一名だけで第一回の応募者四十三名に比べると淋しい応募率。

これに関し係員は少なくても十名はあると思つていたが、一名とは少なすぎます、厳選されるためどうせ落ちるなら応募しないに限ると言う考えになつているためと思うと語つている。

映画は如何です

労政協会石城支部は二十四日から七月七日まで労働教育をかねた慰安映画会を催すことになり、希望労組からの申込を受けている。映画は労働教育ものと劇映画で教育映画はメロデーのある工場新らしい歩み、二十八年度労働ニユースの三本、劇映画はやつさもつさとマンガ。



看護婦 家政婦の御用命は……電三〇七番へ
労働大臣認可 平看護婦家政婦斡旋所
尚派出多忙会員募集

車内で置引
犯人平で下車

東京都足立区高砂町四八元国鉄職員阿部忠一さん（五七）は十三日午前二時半ころ常磐線下り仙台発二〇九列車内で網棚に置いた現金八千二百円など在中の背広上衣、時価五万円相当を置引されたと平鉄道公安室に届出た、なお犯人は平駅で下車した三十前后の男らしい。